

総合的な学習の時間 「ろう学校と交流しよう」

平塚市立富士見小学校



単元（題材）目標

- 交流を通して手話に関心をもち、耳の不自由な方々の生活について考える。
- 自分自身やすべての人の存在の大切さがわかる。

（１）実施時期

1月下旬

（２）対象（学年等・人数）

本校第3学年 109名 ろう学校第3学年 10名

（３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭 : 第3学年所属 3名
ろう学校教諭 : 第3学年所属 4名

（４）実施内容

①手話を用いてのフルーツバスケット

- ・「りんご」「みかん」「もも」「フルーツバスケット」の手話をろう学校児童から教えてもらう。
- ・ろう学校児童が各クラスに混ざって、一緒にフルーツバスケットを行う。

②手話伝言ゲーム

- ・ろう学校児童が先頭になり、お題となる言葉の手話を伝えていく。各クラスの列の途中にも、ろう学校児童が入るようにした。
- ・「にわとり」「猿」「ピーマン」「馬」の手話がお題であった。

（５）成果

- ゲームを通して手話を体験することができたので、興味をもって取り組むことができた。
- 学んだ手話が簡単な動きで表現しやすいものであったので、手話に親しみをもつことができた。
- ろう学校児童と、手話以外の方法（手のひらに文字を書くなど）でコミュニケーションをとろうとする姿も見られ、積極的に交流する様子があった。耳の不自由な方々の生活を理解するための一歩となった。

（６）その他

- 交流の前に、図書室の本で手話について調べる活動も行った。